

<名張市の農業の基本理念(案)>

市民が健康で豊かに暮らせる“なばり農業”

～「農」とふれあい、潤いと活力あふれる農業・農村づくり～

<“なばり農業”の3つの将来像(案)>

1.多彩な担い手が活躍する“なばり農業”

農業の未来を切り開いていく意欲ある多彩な担い手の確保を図りつつ、農地の集約化、営農支援体制の構築、農業生産基盤の整備等を進めることで、担い手がそれぞれの特長を生かしつついきいきと農業を営み、持続的に発展していくことができる農業構造の確立に取り組みます。

2. 需要に応じた魅力ある農産物づくりを目指す“なばり農業”

市民の「食」に対するニーズに応え、TPPや米政策の見直しへの円滑な対応を図りつつ、新鮮で安全・安心な農産物を安定的に供給する体制づくりに取り組みます。

また、農業を若者にとって魅力のある産業としていくため、市内外における需要の取り込みなど、「もうかる農業」の実現を目指し、収益性と高付加価値化を意識した魅力ある農産物づくりに取り組みます。

3.快適な生活環境を市民とともに作りだす“なばり農業”

農村での新たな価値の創造や、若者の雇用創出と定住化などを目指し、豊かな自然や美しい景観、食文化など、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮させるための取り組みを支援します。

また、農業を守り、育てるため、イベント・農業体験や観光農園等を通じて、市民や市外の人々が、農業・農村に触れ合い、理解を深めることができる場づくりに取り組みます。

◇“なばり農業”をかたちづくる地域別農業の振興◇

名張市においては、地域ごとに農業を取り巻く環境は異なります。このため、本計画では、地域の特性を活かした農業振興を図る観点から、次の地域区分により地域別の農業振興の方向を示します。

- 北部地域(薦原・美旗)
- 市街近郊地域(名張・蔵持)
- 東部地域(比奈知・国津)
- 南部地域(錦生・赤目・箕曲)